

令和 6 年度 事業報告書

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家
聖アンナショートステイサービス

令和6年度 事業報告

《予想額及び達成額》

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家 入所定員 50名

予想額 198,000,000 円

達成額 202,682,575 円

達成率

102.3%

聖アンナショートステイサービス 利用定員 10名

予想額 36,000,000 円

達成額 34,516,997 円

達成率

95.8%

《新規入所者数》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	1	1	3	1	0	1	2	3	1	3	1

《退所者数》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3	4	1	1	0	1	1	2	3	1	0	1

《年間稼働率（短期入所含）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
96%	96%	92%	95%	95%	93%	94%	97%	96%	97%	96%	98%

令和 6 年度 事業報告書

聖アンナケアプランセンター

令和6年度実績

目標額 = 57,202,050円

実績 = 49,892,260円

差 - 7,309,790円

達成率 = 87.2%

○ 実績について

介護請求 : 2721件 (前年度2976件)
予防請求 : 459件 (ABC 含) (前年度310件)
認定調査 : 6件 (前年度20件)
個別避難計画 : 2件 (令和6年度新業務)

新規相談 : 101件 (前年度95件)
CM 月平均 : 22.7件 (介護) ・ 3.8件 (予防)
Ⅱ型割合 : 全月を通して50%前後で推移

目標額に対し達成率 87.2%と過去最低の結果となった。

新規相談は年間101件と増加し、サービス開始に向けて迅速に対応しているが、令和6年度に介護予防支援の指定を受けてから、地域包括支援センターからの紹介や、介護予防指定を受けていない他事業所のケアマネ、直接、本人・家族からの相談で、予防請求が増加、逆にすでに要介護状態に至る方は、サービス開始までに時間を要し、施設サービスへの移行も早まる傾向で、売上は右肩下がりとなった。

在宅で亡くなる方について R5年度は55名→R6年度は38名と減少したことも、近隣の特養や老健、ショートステイに空床があり、特養への入所待ち期間も短くなったことが要因と考えられる。

現ケアマネ 10名体制で、介護給付平均件数 22.7件、予防給付平均件数 3.8件と、数字上での余力は残っている状態である。

※R6.12月、過誤申請(54件)行ったため、一時的な件数増あり。

○ 事業運営について

介護保険制度の動向に注視し、職員への法令遵守の周知やコンプライアンス意識を持った指導を随時実施した。

研修への参加を促し知識のアップデートを図ることで、適切かつ安定的な事業運営を実施することができた。

職員に関しては、一人一人の能力やキャパシティに応じ仕事の割り振りを行い、個別案件のフォローや相談を随時実施することで業務量過多にならないよう配

慮した。

利用者・家族の事情で公休日に業務が生じた場合、勤務変更により残業の解消と人件費の抑制を行い、ワークライフバランスに配慮した結果、離職者もなく働きやすい環境の提供と安定的な運営ができた。

R7.3 月末で定年退職 1 名あり、R7.4～パートでの常勤継続となっている。

○ 具体的な取り組みの結果について

1. 各種研修に参加し、常に新しく正しい情報の収集を行い、介護支援専門員としての専門性を高める。また他法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会を計画し開催する。

→法廷研修は必ず受講できるよう配慮した。自治体や病院主催の各研修に関しては、基本的に業務優先であるが、自己研鑽や知識のアップデートのため、随時参加を募りできる限り参加して頂いた。

他法人運営の事例検討会への参加し、R6 年度は聖アンナ主催で事例検討会を開催した。

2. 地域包括支援センターおよび他の関係機関との連絡、情報交換を密にし、利用者に不利益や損害を与えないよう努める

→各関係機関との連絡・連携・情報共有は随時行い信頼関係を構築している。個々のケースに関して、利用者により良い支援ができるよう、随時相談やフォローしている。

3. 事業所が抱えている課題について協議し、事業改善を図る。

→R7.3 をもって 1 名定年退職者あり。新年度は正規職員 8 名、常勤パート 2 名の 10 名体制で運営。R7 年度も定年退職 2 名あり、新たな職員獲得の必要性はあるが、報酬とのバランスもあり事業所の持続性について、法人と慎重な検討が必要と考える。業務改善に関しては、リモートワークの活用やズーム・チームスの活用で積極的な効率化を図っている。

4. 対人援助技術を向上し、利用者の生活全体を見据えたアセスメントで課題を明らかにし、利用者主体のケアプラン作成を行う。

→事業所内研修にバイスティックの 7 原則を取り入れ対人援助技術、コミュニケーション技術の研修を取り入れ、専門性の向上を図った。

5. サービス提供事業所との連携を図り、情報の共有、統一した対応を行う。

→計画書に位置付けたサービス事業所との連携は、報告書のやり取りや電話でのリアルタイムでの情報共有を常時行っており、利用者により良い支援を提供するようにしている。

6. 業務継続（BCP）・感染対策・高齢者虐待防止計画の実行。

→施設と合同で研修会、訓練への参加を予定している。

7. テレワークやリモート会議、リモート研修といった ICT を積極的に活用し業務効率化を図り、その取り組みをアピールし、若手の人材確保、事業所維持につなげる。

→コロナも落ち着き、**R6** 年度はテレワークの実績はなかったが、いつでも活用できる環境を整え、リモート会議やリモート研修は、開催者側のルールに沿って円滑に効率よく参加できている。

R7 年度からはインスタグラムを開始し、事業所の知名度、イメージアップを図るための取り組みを始めたところである。

※介護給付

その他の地域単位

	介護 (月遅れ込)	介護給付内訳		加 算 内 訳							減算内訳		月請求金額		月遅れ件数	月遅れ請求	返礼調整額	月請求金額 (月遅れ込)
		I 型	II 型	特事 I	初回	入連 I	入連 II	退院 I	退院 II	通院連携	同建(Ⅱ)	同建(Ⅰ)						
		1086単位	1411単位	519単位	300単位	250単位	200単位	450単位	50単位		~71単位	~54単位						
4月	222	103	115	218	11	2	1	0	0	0	0	0	¥3,912,650	4月	4	¥75,680	¥15,810	¥3,972,520
5月	231	109	116	225	7	0	1	3	1	0	0	0	¥4,025,250	5月	6	¥126,300	¥0	¥4,151,550
6月	222	105	115	220	6	0	1	2	1	0	0	0	¥3,934,250	6月	2	¥44,600	¥0	¥3,978,850
7月	235	108	118	226	10	0	3	0	0	0	0	0	¥4,046,800	7月	9	¥180,200	¥0	¥4,227,000
8月	228	112	116	228	10	1	1	3	1	0	0	0	¥4,084,900	8月	0	¥0	¥0	¥4,084,900
9月	225	107	115	222	4	2	2	1	2	0	0	0	¥3,963,350	9月	3	¥61,900	¥16,050	¥4,009,200
10月	219	105	111	216	7	1	1	1	3	0	0	0	¥3,859,050	10月	3	¥63,900	¥0	¥3,922,950
11月	220	107	111	218	7	1	1	1	1	7	1	1	¥3,884,640	11月	2	¥44,600	¥0	¥3,929,240
12月	271	106	108	214	8	1	0	0	1	6	1	1	¥3,807,900	12月	57	¥1,059,620	¥1,029,700	¥3,837,820
1月	216	108	105	213	4	2	0	1	2	4	0	0	¥3,779,560	1月	3	¥63,650	¥22,300	¥3,820,910
2月	217	107	106	213	8	1	4	1	1	5	1	1	¥3,798,560	2月	4	¥82,950	¥0	¥3,881,510
3月	215	103	108	211	6	1	2	0	0	7	1	1	¥3,756,540	3月	4	¥82,950	¥0	¥3,839,490
計	2721	1280	1344	2624	88	12	17	13	13	29	4	4	¥46,876,200	計	97	¥1,886,350	¥1,083,860	¥47,678,690

(同一建物減算54件込)

※委託事業

※予防給付

	ケアネ ジメント ABC	請求額		認定調査件数	調査請求額 ¥3,300	避難計画件数	請求額 ¥7,000	月請求金額		予防	予防請求額		月請求金額	返礼調整額	月請求金額
		初回													
		300単位	442単位												
4月	7	0	¥30,940	0	¥0	0	¥0	¥30,940	4月	23	2	¥114,560	¥114,560	¥0	¥114,560
5月	5	0	¥22,100	1	¥3,300	0	¥0	¥25,400	5月	23	2	¥114,560	¥114,560	¥0	¥114,560
6月	6	0	¥26,520	1	¥3,300	0	¥0	¥29,820	6月	27	2	¥133,440	¥133,440	¥0	¥133,440
7月	4	0	¥17,680	0	¥0	0	¥0	¥17,680	7月	35	6	¥183,200	¥183,200	¥14,160	¥169,040
8月	4	0	¥17,680	0	¥0	0	¥0	¥17,680	8月	35	3	¥174,200	¥174,200	¥12,440	¥161,760
9月	4	0	¥17,680	0	¥0	0	¥0	¥17,680	9月	38	6	¥197,360	¥197,360	¥7,720	¥189,640
10月	4	0	¥17,680	0	¥0	0	¥0	¥17,680	10月	36	0	¥169,920	¥169,920	¥0	¥169,920
11月	4	0	¥17,680	0	¥0	0	¥0	¥17,680	11月	38	2	¥185,360	¥185,360	¥0	¥185,360
12月	4	0	¥17,680	3	¥9,900	0	¥0	¥27,580	12月	39	2	¥190,080	¥190,080	¥4,720	¥185,360
1月	5	2	¥28,100	1	¥3,300	0	¥0	¥31,400	1月	38	2	¥185,360	¥185,360	¥4,720	¥180,640
2月	3	0	¥13,260	0	¥0	0	¥0	¥13,260	2月	38	2	¥185,360	¥185,360	¥0	¥185,360
3月	4	1	¥20,680	0	¥0	2	¥14,000	¥34,680	3月	35	0	¥165,200	¥165,200	¥0	¥165,200
計	54	3	¥247,680	6	¥19,800	0	¥14,000	¥281,480	計	405	29	¥1,998,600	¥1,998,600	¥43,760	¥1,954,840

※月別実績額

	月 別	累 計	R6年度目標	達成率	累計達成率
4月	¥4,118,020	¥4,118,020	¥4,450,500	92.5%	7.2%
5月	¥4,291,510	¥8,409,530	¥4,540,500	94.5%	14.7%
6月	¥4,142,110	¥12,551,640	¥4,627,250	89.5%	21.9%
7月	¥4,413,720	¥16,965,360	¥4,740,850	93.1%	29.7%
8月	¥4,264,340	¥21,229,700	¥4,827,600	88.3%	37.1%
9月	¥4,216,520	¥25,446,220	¥4,917,600	85.7%	44.5%
10月	¥4,110,550	¥29,556,770	¥4,941,200	83.2%	51.7%
11月	¥4,132,280	¥33,689,050	¥4,941,200	83.6%	58.9%
12月	¥4,050,760	¥37,739,810	¥4,851,200	83.5%	66.0%
1月	¥4,032,950	¥41,772,760	¥4,788,050	84.2%	73.0%
2月	¥4,080,130	¥45,852,890	¥4,788,050	85.2%	80.2%
3月	¥4,039,370	¥49,892,260	¥4,788,050	84.4%	87.2%
合計		¥49,892,260	¥57,202,050	87.2%	87.2%

令和 6 年度 事業報告書

聖アンナ訪問看護ステーション

聖アンナ訪問看護ステーション 事業報告書

1.令和6年度目標額	74,400,000	医療連携目標額	3,720,000
2.令和6年度達成額	77,680,846	医療連携達成額	4,090,860

3.目標達成に至った理由について

- ・看護職員数確保が出来、常勤職員5名(内育児休暇2名)非常勤職員7名で対応。月訪問件数889～1016件の訪問に対応。理学療法士・作業療法士の訪問数も増加。そのうち夜間帯の緊急訪問への対応が迅速に対応できたことが要因と考えられる。
- ・医療訪問件数の増加とショートステイ・デイサービスへの医療連携サービスの充実・デイサービスへの緊急時対応もできた。
- ・主治医の緊急依頼にも対応
- ・介護保険対象者への軽度からのサービス利用により病状の悪化時に対応できたことも良かった点である
- ・グループホームへの医療連携やデイサービスへの支援協力により、利用者様との連携を密にできたことも良かった点である。
- ・他事業所のケアマネや各病院の連携室からの訪問依頼もあった。
- ・希望に応じた自費訪問の対応もできた。

4.事業計画の実施について

- ・これからの方向性は医療従事者と利用者様・家族様の双方に医療とは両者の共同作業であるという視点に立ちケアを行う
 - ・住み慣れた地域でその人らしく生活し、希望する生き方を選択し在宅での看取りが選べるようにする
 - ・個人の尊厳の保持を支えていく
 - ・地域に密着した事業所であることを基本とし社会資源の活用等のアドバイスを実施
 - ・居宅介護支援事業所や高齢者住宅への訪問、医療連携事業の強化
- 以上のことを踏まえ、引き続き下記計画に沿って業務を実施。選ばれるステーションを目指す。
- ・訪問看護の更なる普及を目指す。
 - ・多様な在宅医療ニーズに対応できるように専門性の深化に努める。
 - ・個別ニーズに対応する為利用者様の声に耳を傾け次のサービスへの展開を念頭に置く。
 - ・新規利用者さまの獲得に向け、PR活動の強化。
 - ・在宅診療に熱心な主治医との連携強化。
 - ・研修への積極的参加により質の向上を図る。
 - ・新規採用職員の教育により質の向上を図るとともに意欲ある優秀な人材育成に努める。
 - ・ショートステイ中の方や小規模多機能型通所介護との連携を深め利用者獲得を図る。
 - ・他職種との連携強化→聖アンナ訪問看護の認知度を高める。
 - ・緊急時や夜間帯の対応の強化を図り、加算を確実に算定できるようにする。
 - ・予防の観点からも早期からの利用の促進を図る→ケアマネへの働きかけ。
 - ・24時間、対応できる体制があることや重症者の受け入れを積極的に行い、医療介護のケアマネジメント機能を発揮、地域全体の在宅療養生活の環境整備に貢献していく。
 - ・精神科訪問看護の利用者の確保及び増加
 - ・理学療法士によるリハビリの援助の拡充を図っていく
 - ・保険以外の自費サービスへの対応の強化も図る
 - ・各事業所への看護師の派遣、加算算定のために職員の能力向上に努める。

R6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	34	25	24	25	27	31	29	34	32	32	34	36	363
平均年齢	82	82	83	82	82	82	83	82	82	82	82	83	82
外	9	6	6	6	7	8	8	11	11	10	10	11	103
西貴志地区	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	15
	0	0	0	1	1	2	3	2	1	1	2	2	15
	4	4	4	4	4	5	3	3	3	3	3	3	43
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	2	2	3	3	4	4	4	3	4	4	4	39
中貴志地区	0	0	1	0	1	0	0	2	2	2	2	2	12
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	6
東貴志地区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	1	2	2	2	2	2	3	2	1	2	22
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7	5	4	5	5	5	4	5	5	4	4	4	57
	5	4	3	2	2	2	2	2	1	3	3	3	32
丸栖地区	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	8
	1	1	1	2	3	3	3	4	3	5	6	6	38
	3	2	2	5	5	5	4	5	6	5	5	5	52
	4	3	4	3	3	5	5	5	4	5	5	5	51
	4	3	3	2	2	3	2	3	2	2	2	3	31
介護度別	9	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
	12+3	7+3	6+4	5+3	6+3	7+2	7+1	9+3	9+5	7+3	8+2	9+5	92+37
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数		47	49	48	49	48	51	50	49	53	56	62	55	617
外 西 貴 志 地 区	平均年齢	85	84	85	85	84	84	84	84	85	85	86	86	85
	町外	12	14	14	13	15	16	15	15	19	20	19	19	191
	西山	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	29
	長山	3	3	4	5	3	3	2	2	3	4	6	4	42
	長原	8	7	6	6	6	6	6	6	7	7	7	5	77
	鳥居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岸宮	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	5	4	57
	前田	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	38
中 貴 志 地 区	神戸	5	5	5	5	5	6	7	4	3	3	4	3	55
	国主	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
	上野山	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	尼寺	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	2	2	18
	高尾	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
東 貴 志 地 区	北	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	岸小野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	井ノ口	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	5	5	51
	丸栖	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14
地 区	北山	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
介 護 度 別	介護1	6	6	4	3	2	2	2	2	3	3	5	4	42
	介護2	7	6	6	6	8	8	8	7	7	7	8	6	84
	介護3	12	12	15	18	15	14	15	17	18	19	20	20	195
	介護4	7	7	7	7	7	7	6	7	9	11	12	12	99
	介護5	5	6	7	6	5	7	7	6	5	6	7	6	73
	医療	8+4	10+2	7+6	7+4	8+3	10+5	9+5	7+5	8+6	6+8	6+6	4+3	90+57
	支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	支援2	1	1	1	1	2	2	2	2	1	2	2	1	18
保険外		1	2	1	1	2	1	0	0	1	1	1	1	12

聖アンナ訪問看護ステーション実績報告書 R6年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	81	74	72	74	75	82	79	83	85	88	96	91	980
(男)	34	25	24	25	27	31	29	34	32	32	34	36	363
(女)	47	49	48	49	48	51	50	49	53	56	62	55	617
新規利用者	5	7	3	7	7	9	2	6	9	5	9	4	73
再開	1	0	0	0	0	0	1	3	0	1	2	0	8
利用終了者	6	6	1	2	1	2	2	5	2	2	5	6	40
	0	2	1	1	2	3	3	1	0	2	2	2	19
医療保険(人数)	27	22	23	20	20	24	22	24	28	24	22	21	277
(回数)	471	488	471	453	342	450	493	384	522	380	343	350	5147
介護保険 (人数)	60	56	56	58	61	63	63	66	66	72	79	75	775
(回数)	533	471	440	526	532	540	593	526	566	535	600	612	6474
保険外自費 (人数)	1	2	1	1	2	2	0	0	1	1	1	1	13
(回数)	12	24	12	14	15	4	0	0	2	3	4	5	95
延べ訪問回数	1016	983	923	993	889	994	1086	910	1090	918	947	962	11711

令和 6 年度 事業報告書

デイサービスセンターたかお

令和6年度デイサービスセンターたかお事業報告書

1. 6年度目標額：60,000,000円

2. 6年度売上額：50,492,382円

3. 達成率84.2%

4. 目標不達成について

- ・冬季にかけて、入院、入所、長欠、死亡者が増加。
- ・新規利用者が少なかった。（年間を通して）

5. 事業計画の実施について

1、通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス

2、年末年始を除く月曜日から土曜日、祝祭日の事業の実施。

3、介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、利用者一人ひとりの身体的・精神的状況やニーズを把握し、当事業所にて通所介護計画書を作成し、そのサービスを提供することが出来た。

4、常日ごろから利用者家族と積極的にコミュニケーションをとる事により、信頼関係を築き、お互いに協力し合える環境作りができた。

5、日々のレクリエーションの中で個々の利用者の状況や好みに応じた選択メニューを作り参加して頂く。また、行事などの実施状況をInstagramを活用して、外部発信をスタートした。

6、新型コロナウイルスの感染対策は継続しながら、カラオケ行事の全面実施、外出行事の実施をおこなった。

(デイサービスセンターたかお)

令和6年度 通所介護事業（要介護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）集計 令和6年4月1日～令和7年3月31日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員（月 間）				一日当り 平均人数
				基本事業	入 浴	食 事	実 施 日 数	
4月	40	418	723	418	305	414	26	13.9
5月	43	431	751	431	320	427	27	13.9
6月	43	425	730	425	305	421	25	14.2
7月	44	456	788	456	332	452	27	14.7
8月	38	407	716	407	309	403	27	13.1
9月	38	424	732	424	308	421	25	14.1
10月	34	445	770	445	325	440	27	14.4
11月	41	457	818	457	361	453	26	15.2
12月	39	422	738	422	316	414	24	13.6
1月	39	442	770	442	328	435	24	14.3
2月	40	450	780	450	330	444	24	16.1
3月	38	459	800	459	341	448	26	14.8
合 計	477	5236	9116	5236	3880	5172	308	14.3

(デイサービスセンターたかお)
令和6年度 介護予防通所介護相当サービス事業 (事業対象者・要支援1・2)
令和6年4月1日～令和7年3月31日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員 (月 間)				一日当り 平均人数
				基本事業	食 事	実 施 日 数		
4月	9	71	71	71	71	26	2.4	
5月	8	71	71	71	71	27	2.3	
6月	11	84	84	84	84	25	2.8	
7月	10	84	84	84	84	27	2.7	
8月	9	76	76	76	76	27	2.5	
9月	8	63	63	63	63	25	2.1	
10月	7	63	63	63	63	27	2.0	
11月	6	51	51	51	51	26	1.7	
12月	6	48	48	48	48	24	1.5	
1月	6	44	44	44	44	24	1.4	
2月	6	44	44	44	44	24	1.6	
3月	6	47	47	47	47	26	1.5	
合 計	92	746	746	746	746	308	2.0	

令和 6 年度 事業報告書

在宅介護支援センター

令和6年度 在宅支援センター 事業報告書

1 実施事業（3事業）

- ・紀の川市受託事業 高齢者見守り事業
- ・紀の川市受託事業 集い場づくり事業
- ・法人独自事業 高齢者入退院事業

2 事業実施について

- ・高齢者見守り事業
年間サービス提供数63件
紀の川市¥12,600円
- ・集い場づくり事業「いこいカフェ」
年間開催回数12回 年間参加者合計175名
紀の川市¥120,000円 参加者負担分¥17,500円
- ・高齢者入退院事業
年間サービス提供数0件

3 事業実施について

高齢者見守り事業については、年間の実利用者は2名であったが、令和6年10月に1名の方が利用中止となったので、令和7年3月末日時点では1名の方が利用されています。

集い場づくり事業は、月に一度定期的に開催することができた。次年度から紀の川市受託事業として介護予防教室を行うこととなり、集い場事業は今年度で終了することとなった。

高齢者入退院事業については、今年度の利用実績はありませんでした。

4 今後について

高齢者見守り事業と集い場づくり事業は継続して実施し、地域福祉の向上に寄与したいと考えています。

集い場事業は、今年度で終了しますが、介護予防教室を通して、地域福祉の向上に寄与したいと考えています。

令和 6 年度 事業報告書

特別養護老人ホームきしがわ園

令和6年度 特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

1. 令和6年度目標額 152,080,000 円

2. 令和6年度達成額 155,035,223 円

3. 目標額に対しての達成率 102.1%

4. 目標達成について

今年度は利用日数10,950床で稼働日数10,722床、空床は228床となっている。短期入所生活介護の空床利用は内0床となっている。計画での平均介護度3.9であったが、実績では4.0であった。平均介護度については、一昨年は3.8であったが、昨年3.9、今年度4.0となっている。入居時に要介護3であった方の重度化が進み、4、5と上がっていることが平均介護度を引き上げている。空床について前年度は331床であったが、令和6年度は228床と減少した。

内訳として入院による空床が115床（前年度148床）、退所後の入所までの空床が113床（前年度183床）であった。今年度の退所者は9名（前年度17名）となっている。稼働率が目標以上に上がった要因として、入院による空床が前年比より-33床。さらに退所者が前年比より大幅に減ったことで全体的に空床を減らすことができた。また短期入所の長期利用者からの入所へのスムーズな移行もできたことで、目標が達成できたと考える。

今後については、高齢者住宅・有料老人ホーム等の増加に伴い、新規申込が減少している為、各地の病院や地域包括とも連携し入退院支援をよりスムーズに行う事や、一般の人に対する宣伝（地域に特養がある事、認知症や病気等で介護が必要になった場合に特養が利用できる事）が必要と考える。

新年度も待機者がスムーズに入居できる様に退所者の的確な状況把握と事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図る。稼働率を上げる取り組みを継続し、待機者の確保のため居宅介護支援事業・病院への周知により、ショート・施設共に満床利用を心掛け、目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。管理栄養士と多職種による栄養強化体制を構築し、口から食べるケアについて力を入れて実施できている。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴し、体調不良等で入浴できない方の場合は日程変更等して実施を行った。
- ③ レクリエーション、行事についてはコロナ禍、以後も十分には実施出来ていなかったが、今年度より徐々にできる行事から行った。(外出行事、施設内行事共)
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生リスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。面会制限を段階的に緩和し、予約制での直接面会の再開等で家族様と直接のやり取りも増えた。また、看取りや体調不調の方等については、直接居室までの面会を可能とし、家族様と職員との連携を強く出来るように調整できた。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備と改善策の実施などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

大きな事故を予防するために、ヒヤリハットの分析を中心とした事故対策委員会を毎月開催し、事故の予防に努めた。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

権利擁護・人権研修の実施により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

地域の方々との連携・交流は未だにできていない。看護学校実習生・職場体験の受け入れ、障害福祉サービスとの協業等は継続し実施できている。

13. 運営推進会議の開催

令和6年度は新たな新興感染症もなく、通常通り運営推進会議を実施した。2ヶ月に一回、きしがわ園にて現状報告や、地域の人や公的機関との意見交換を行い、必要な要望・助言等を頂けるように努めた。

今後も入居者、家族との信頼関係を構築し、かつ職員の質の向上、個人を尊重した介護の統一により、入居者が安心・楽しく過ごせるように努めたい。

要介護度別利用者数（スケジュール）

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女													
		合計													
適	要支援 2	男													
		女													
		合計													
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男													
		女													
		合計													
適	要介護 2	男													
		女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
適	要介護 3	男	3	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	3	30
		女	5	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	43
		合計	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	73
適	要介護 4	男	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	19
		女	13	14	13	13	14	13	12	12	12	12	12	12	152
		合計	14	16	15	15	16	15	14	14	13	13	13	13	171
適	要介護 5	男			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
		女	7	7	8	7	7	7	9	9	9	9	10	10	99
		合計	7	7	9	8	8	8	10	10	10	10	11	11	109
	総合計(人)	男	4	4	5	5	5	5	6	6	5	5	4	5	59
		女	26	26	26	25	26	25	25	25	25	25	26	26	306
		合計	30	30	31	30	31	30	31	31	30	30	30	31	365

(注 1) 該当月末日時点では有効な要介護度より算出しています。

年間要介護度別利用日数

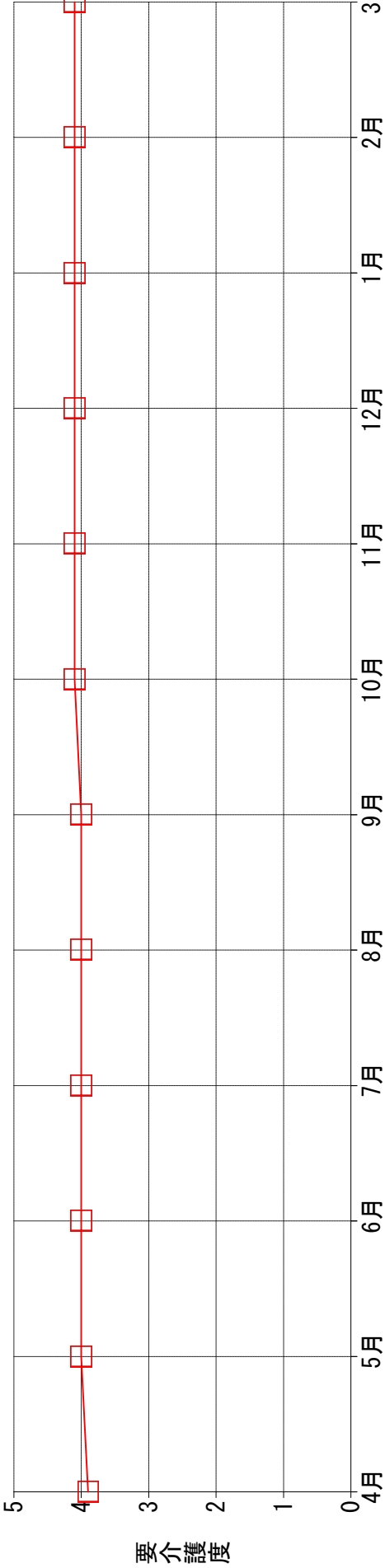
令和 6年度

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女													
		合計													
適	要支援 2	男													
		女													
		合計													
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男													
		女													
		合計													
適	要介護 2	男													
		女													
		合計													
適	要介護 3	男	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
		女	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
		合計	90	62	60	62	62	60	65	90	93	87	56	67	854
適	要介護 4	男	135	124	120	124	124	120	93	71	93	93	84	93	1274
		女	225	186	180	186	186	180	158	161	186	180	140	160	2128
		合計	30	62	60	62	62	60	62	39	31	31	28	31	558
適	要介護 5	男	390	434	390	403	395	385	372	360	359	366	336	372	4562
		女	420	496	450	465	457	445	434	399	390	397	364	403	5120
		合計	210	217	219	217	217	210	230	270	279	279	275	297	2920
適	総合計(日)	男	210	217	239	248	248	240	261	300	310	310	303	328	3214
		女	120	124	140	155	155	150	158	159	155	149	112	129	1706
		合計	765	806	759	775	767	745	726	731	762	769	723	793	9121
		合計	885	930	899	930	922	895	884	890	917	918	835	922	10827

(注 1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注 2) 退所日は日数には含みません。

利用者平均要介護度

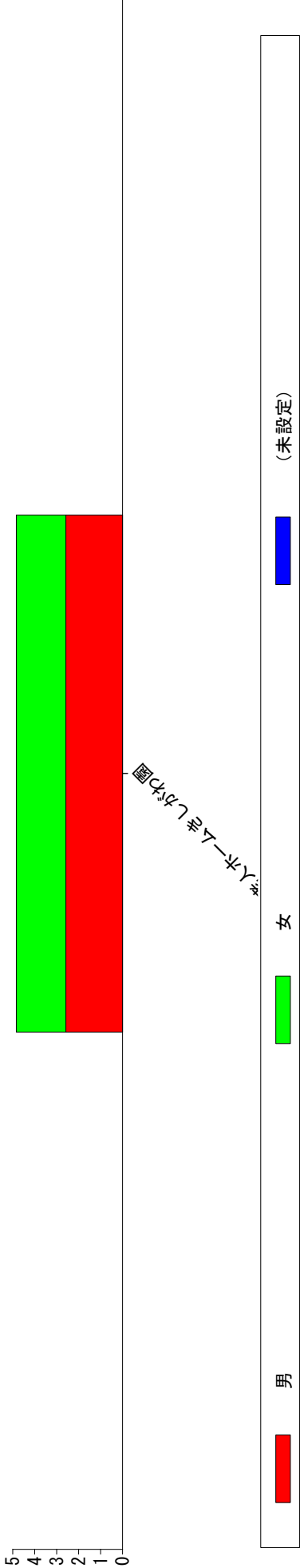
令和 6年度



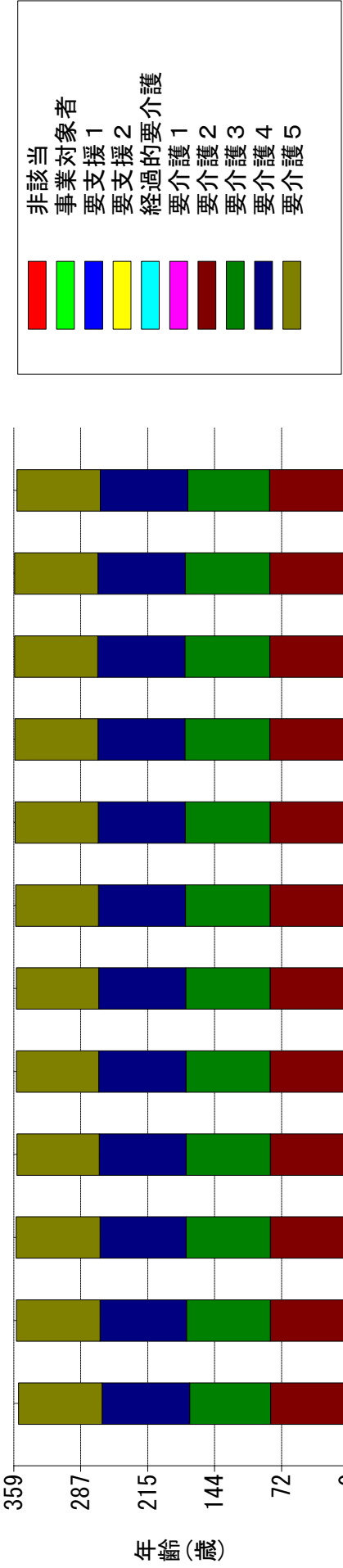
適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	3.3	3.5	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.8	3.6	3.7
		女	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1
		平均	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

平均在所期間



	特別養護老人 ホーム 2年 7ヶ月	(未設定)	(合計)
男			2年 7ヶ月
女	2年 3ヶ月		2年 3ヶ月
(未設定)			
(合計)	2年 4ヶ月		2年 4ヶ月



適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	非該当	男													
		女													
		平均													
適	事業対象者	男													
		女													
		平均													
適	要支援 1	男													
		女													
		平均													
適	要支援 2	男													
		女													
		平均													
適	経過的要介護	男													
		女													
		平均													
適	要介護 1	男													
		女													
		平均													
適	要介護 2	男													
		女	83.58	83.67	83.75	83.83	83.92	84.00	84.08	84.17	84.25	84.33	84.42	84.50	84.04
		平均	83.58	83.67	83.75	83.83	83.92	84.00	84.08	84.17	84.25	84.33	84.42	84.50	84.04
適	要介護 3	男	87.03	94.63	94.71	94.79	94.88	94.96	94.36	94.44	94.53	94.61	95.29	88.06	93.25
		女	86.73	87.90	87.98	88.06	88.23	88.31	87.33	87.53	87.61	87.69	87.78	87.86	87.74
		平均	86.84	90.14	90.22	90.31	90.44	90.53	90.85	90.99	91.07	91.15	90.78	87.96	90.01

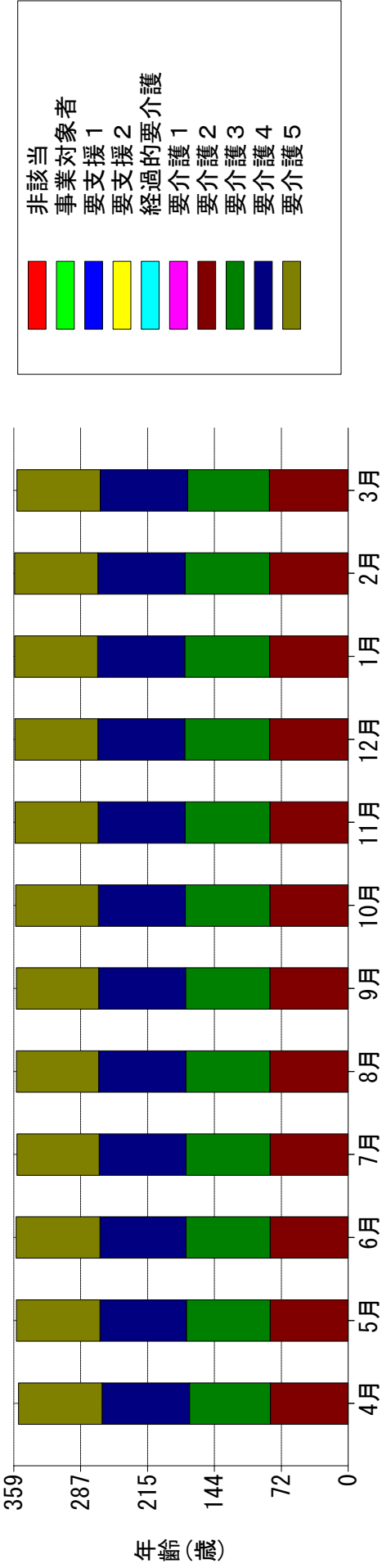
(注 1) 各月の平均年齢は、各月末時点の年齢より算出しています。

(注 2) 小数点以下第 3 位を四捨五入しています。

1 / 2

要介護度別平均年齢

令和 6年度



適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	要介護 4	男	92.58	82.38	82.46	82.54	82.63	82.71	82.79	82.88	72.67	72.75	72.83	72.92	81.08
		女	93.79	94.04	94.17	94.92	95.08	94.90	94.90	94.98	95.06	95.23	95.31	95.40	94.80
		平均	93.71	92.58	92.61	93.27	93.52	93.27	93.17	93.25	93.34	93.50	93.58	93.67	93.27
適	要介護 5	男			87.83	87.92	88.00	88.08	88.17	88.25	88.33	88.42	88.50	88.58	88.21
		女	89.67	89.75	90.30	88.13	88.21	88.30	89.09	89.19	89.28	89.36	89.58	89.68	89.25
		平均	89.67	89.75	90.03	88.10	88.19	88.27	89.00	89.10	89.18	89.27	89.48	89.58	89.15
	総合計(人)	男	88.42	88.50	88.43	88.52	88.60	88.68	89.47	89.56	88.92	89.00	87.98	85.13	88.48
		女	90.93	91.54	91.63	91.48	91.75	91.56	91.47	91.57	91.65	91.78	91.82	91.91	91.59
		平均	90.60	91.14	91.11	90.99	91.24	91.08	91.08	91.18	91.20	91.31	91.31	90.81	91.09

(注1) 各月の平均年齢は、各月末時点の年齢より算出しています。(注2) 小数点以下第3位を四捨五入しています。

令和 6 年度 事業報告書

地域密着特別養護老人ホームきしがわ園

令和6年度 地域密着特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

1. 令和6年度目標額 84,120,000 円

2. 令和6年度達成額 85,280,000 円

3. 目標額に対しての達成率 101.0%

4. 目標達成について

今年度は利用日数7,300床で稼働日数7,239床、空床は105床となっている。短期入所生活介護の空床利用は内25床となっている。計画での平均介護度4.2であったが、実績では4.0であった。平均介護度については、一昨年は4.2であったが、昨年4.1、今年度4.0と減少傾向にある。重度入居者が死亡、新規入居者と入れ替わったことが要因である。空床について前年度は331床であったが、令和6年度は105床と大幅に減少したことが目標達成できた要因である。

内訳として入院による空床が72床（前年度64床）、退所後の入所までの空床が33床（前年度162床）であった。今年度の退所者は4名（前年度8名）となっている。稼働率が上昇した要因として、入院による空床は前年度より+8床だが、退所者が少なかったことで、入所までの空床を減らすことができた。

今後については、高齢者住宅・有料老人ホーム等の増加に伴い、新規申込が減少している為、各地の病院や地域包括とも連携し入退院支援をよりスムーズに行う事や、一般の人に対する宣伝（地域に特養がある事、認知症や病気等で介護が必要になった場合に特養が利用できる事）が必要と考える。

新年度も待機者がスムーズに入居できる様に退所者の的確な状況把握と事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図る。稼働率を上げる取り組みを継続し、待機者の確保のため居宅介護支援事業・病院への周知により、ショート・施設共に満床利用を心掛け、目標達成を目指したいと考える。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。管理栄養士と多職種による栄養強化体制を構築し、口から食べるケアについて力を入れて実施できている。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴し、体調不良等で入浴できない方の場合は日程変更等して実施を行った。
- ③ レクリエーション、行事についてはコロナ禍、以後も十分には実施出来ていなかったが、今年度より徐々にできる行事から行った。(外出行事、施設内行事共)
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時に救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生リスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。面会制限を段階的に緩和し、予約制での直接面会の再開等で家族様と直接のやり取りも増えた。また、看取りや体調不調の方等については、直接居室までの面会を可能とし、家族様と職員との連携を強く出来るように調整できた。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備と改善策の実施などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

大きな事故を予防するために、ヒヤリハットの分析を中心とした事故対策委員会を毎月開催し、事故の予防に努めた。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

権利擁護・人権研修の実施により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

地域の方々との連携・交流は未だできていない。看護学校実習生・職場体験の受け入れ、障害福祉サービスとの協業等は実施できている。

13. 運営推進会議の開催

令和6年度は新たな新興感染症もなく、通常通り運営推進会議を実施した。2ヶ月に一回、きしがわ園にて現状報告や、地域の人や公的機関との意見交換を行い、必要な要望・助言等を頂けるように努めた。

今後も入居者、家族との信頼関係を構築し、かつ職員の質の向上、個人を尊重した介護の統一により、入居者が安心・楽しく過ごせるように努めたい。

要介護度別利用者数（スケジュール）

令和 6年度 実人数

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
適	非該当	男														
		女														
		合計														
適	事業対象者	男														
		女														
		合計														
適	要支援 1	男														
		女														
		合計														
適	要支援 2	男														
		女														
		合計														
適	経過的要介護	男														
		女														
		合計														
適	要介護 1	男														
		女														
		合計														
適	要介護 2	男														
		女														
		合計														
適	要介護 3	男	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	3	4	30	
		女	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	42
		合計	6	6	6	5	5	5	6	6	6	6	6	7	8	72
適	要介護 4	男	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	2	41	
		女	5	5	5	5	6	6	4	4	4	4	4	4	4	54
		合計	8	8	8	9	10	8	8	8	8	7	7	6	6	95
適	要介護 5	男										1	1	1	3	
		女	6	6	6	6	6	7	7	6	6	6	6	6	6	74
		合計	6	6	6	6	6	7	7	6	6	7	7	7	7	77
	総合計(人)	男	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	74	
		女	14	14	14	14	15	14	15	14	14	14	14	14	14	170
		合計	20	20	20	20	21	20	21	20	20	20	21	21	21	244

(注 1) 該当月末日時点では有効な要介護度より算出しています。

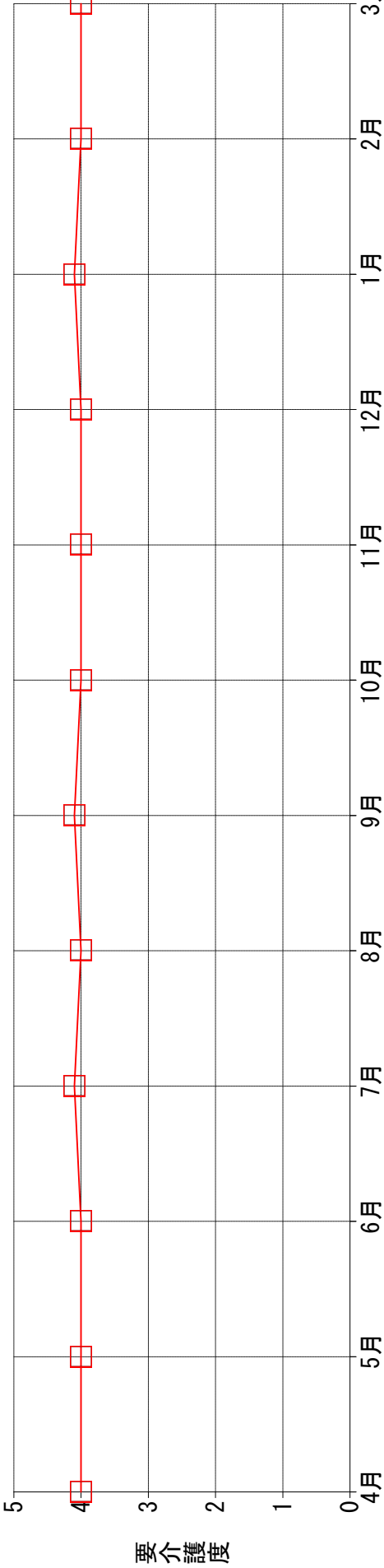
令和 6年度
年間要介護度別利用日数

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女													
		合計													
適	要支援 2	男													
		女													
		合計													
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男													
		女													
		合計													
適	要介護 2	男													
		女													
		合計													
適	要介護 3	男	90	93	90	62	62	60	62	60	62	62	57	101	861
		女	90	93	90	93	93	90	109	120	124	124	112	124	1262
		合計	180	186	180	155	155	150	171	180	186	186	169	225	2123
適	要介護 4	男	65	93	90	124	124	120	124	120	124	93	83	62	1222
		女	150	155	150	155	143	120	124	120	124	124	112	124	1601
		合計	215	248	240	279	267	240	248	240	248	217	195	186	2823
適	要介護 5	男										31	28	14	73
		女	180	186	180	186	186	210	186	180	186	186	168	186	2220
		合計	180	186	180	186	186	210	186	180	186	217	196	200	2293
	総合計(日)	男	155	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	177	2156
		女	420	434	420	434	422	420	419	420	434	434	392	434	5083
		合計	575	620	600	620	608	600	605	600	620	620	560	611	7239

(注 1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注 2) 退所日は日数には含みません。

利用者平均要介護度

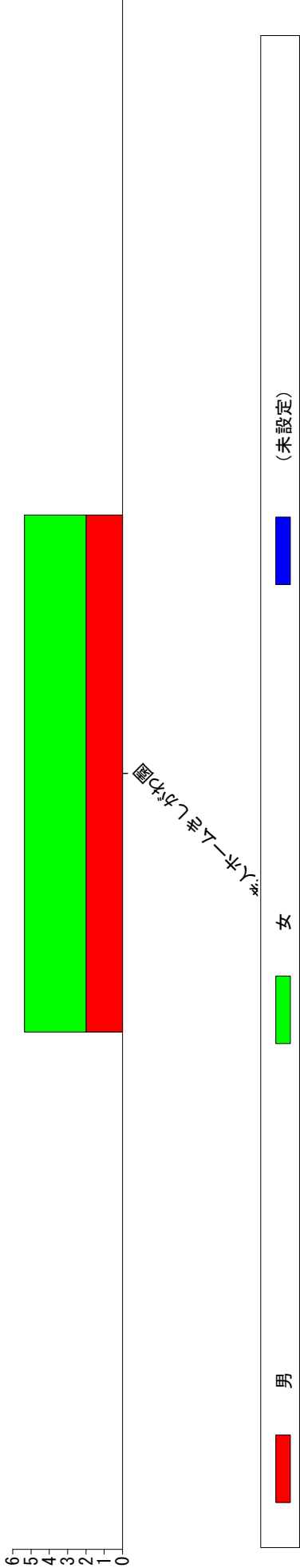
令和 6年度



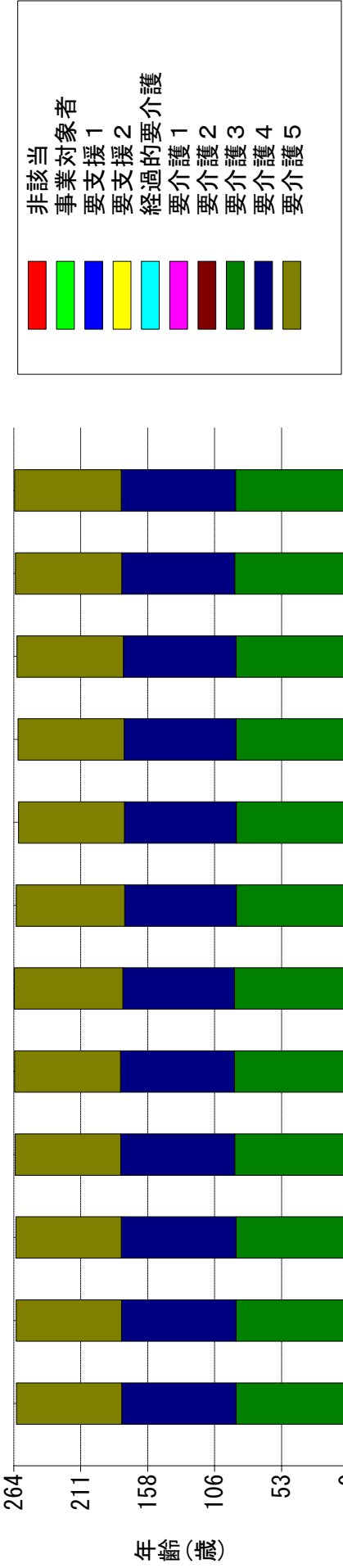
適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	3.5	3.5	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.6	3.6
		女	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2
		平均	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

平均在所期間

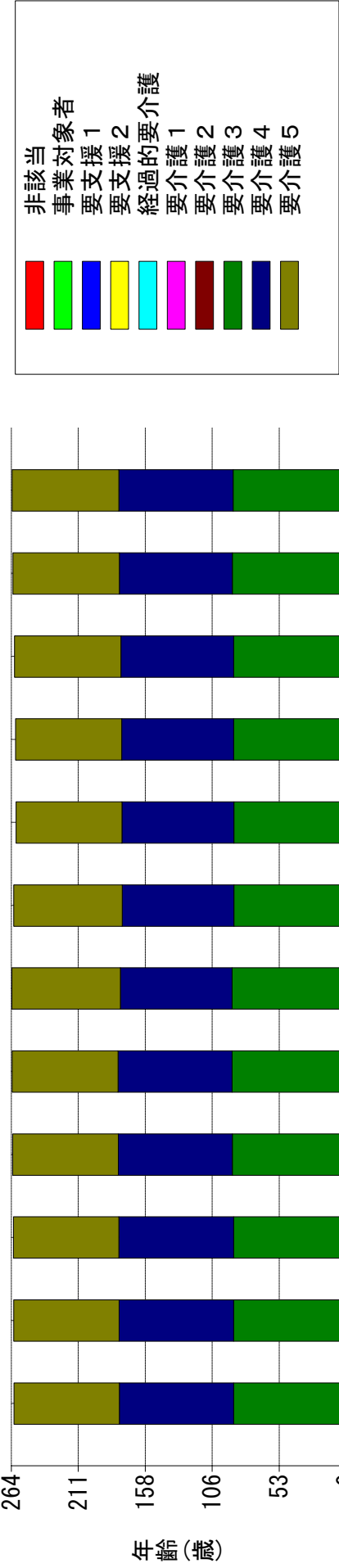


	地域密着特別 養護老人ホーム	(未設定)	(合計)
男	2年		2年
女	3年 4ヶ月		3年 4ヶ月
(未設定)			
(合計)	2年 11ヶ月		2年 11ヶ月



適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	非該当	男													
		女													
		平均													
適	事業対象者	男													
		女													
		平均													
適	要支援 1	男													
		女													
		平均													
適	要支援 2	男													
		女													
		平均													
適	経過的要介護	男													
		女													
		平均													
適	要介護 1	男													
		女													
		平均													
適	要介護 2	男													
		女													
		平均													
適	要介護 3	男	82.50	82.58	82.67	82.04	82.13	82.21	82.29	82.38	82.46	82.54	86.94	86.31	83.38
		女	94.72	94.81	94.89	94.97	95.06	95.14	91.56	91.65	91.73	91.81	91.90	91.98	93.13
		平均	88.61	88.69	88.78	89.80	89.88	89.97	88.47	88.56	88.64	88.72	89.77	89.15	89.06

(注 1) 各月の平均年齢は、各月末時点の年齢より算出しています。 (注 2) 小数点以下第 3 位を四捨五入しています。



適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	要介護 4	男	82.64	82.72	82.81	83.21	83.29	83.38	83.46	83.54	83.63	83.36	83.42	83.96	83.29
		女	94.83	94.92	95.00	95.08	94.56	92.71	92.79	92.88	92.96	93.04	93.13	93.21	93.88
		平均	90.26	90.34	90.43	89.81	90.05	88.04	88.13	88.21	88.29	88.89	88.96	90.13	89.31
適	要介護 5	男										84.75	84.83	84.92	84.83
		女	83.01	83.10	83.18	83.26	83.35	85.55	85.63	83.60	83.68	83.76	83.85	83.93	83.87
		平均	83.01	83.10	83.18	83.26	83.35	85.55	85.63	83.60	83.68	83.90	83.99	84.07	83.91
	総合計 (人)	男	82.57	82.65	82.74	82.82	82.90	82.99	83.07	83.15	83.24	83.32	85.13	85.44	83.39
		女	89.74	89.83	89.91	89.99	90.17	89.65	89.12	88.55	88.63	88.71	88.80	88.88	89.34
		平均	87.59	87.68	87.76	87.84	88.10	87.65	87.39	86.93	87.01	87.10	87.58	87.73	87.53

(注 1) 各月の平均年齢は、各月末時点の年齢より算出しています。(注 2) 小数点以下第 3 位を四捨五入しています。

令和 6 年度 事業報告書

きしがわ園ショートステイサービス
第2 きしがわ園ショートステイサービス

令和6年度 きしがわ園ショートステイサービス 事業報告書

1.令和6年度目標額 70,020,000 円

令和6年度達成額 70,444,380 円

100.6%

2.目標達成について

令和6年4月より、ショートステイを20床に戻し、徐々に受け入れを増やしていった。予定通り7月後半には通常の稼働率に戻すことが出来た。

11月までは予定通り稼働することが出来ていたが、12月に入りコロナの流行により利用者の受け入れを制限することとなり、稼働率が低下してしまった。

1月に入ってから受け入れを再開したが、長期利用者の転倒事故による入院が2件あり、思うように稼働が上がりなかった。

その後、新規利用者の獲得と長期利用者の獲得に努め、稼働率が向上できた。

2月、3月は特養の退所が立て続けにあり、ショートステイから4人入所され、移行もスムーズに対応できたが稼働率が低下している。

新規利用者獲得の為、居宅介護支援事業所や病院との連携を密に行い情報共有を行い、緊急ショートを受け入れなども出来る限り調整、対応し限られた中で利用者獲得に努めた。

4月以降緊急ショートを受け入れ9件、新規利用者数39件獲得している。

結果として、8月以降の稼働率が目標を上回った為に最終的に目標を達成することが出来た。

引き続いて地域のショートステイのニーズを満たせるように受け入れ対応していく。

また、生産性向上に努め職員が働きやすい環境作りも並行して進めていく。

3.事業計画の実施について

(1) 食事サービス

委託業者と月1回の給食会議の中で、意見を出し合い、情報共有を行うことで、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。

管理栄養士との連携により、利用者の健康状態に応じた食事形態を提案、小まめに調整することが出来、一人一人に合わせた栄養ケア、食事面でのマネジメントが行えていると考える。

(2) 家族との連携

電話連絡やLINE等のSNSの活用、入退所の送迎時に直接家族に会い、利用中の様子や体調面を細かく伝えることで、安心感を持って頂けるよう心掛けた。

また、家族が感じている疑問や不安な部分を聞き取り、利用者だけでなく家族にも寄り添ったケアを目指し、信頼関係を築いていけるよう努めた。

- (3) 機関・他事業所との連携
地域包括支援センター・居宅介護支援事業所のケアマネ等からの相談に対して迅速かつ丁寧に対応し、利用者のショート利用に繋げることができた。
居宅介護支援事業所へは電話にてこまめな情報共有、担当者会議開催時に状況を詳しく説明し、より良い連携が取れたと考える。
新規利用者獲得に向け、今後も引き続いて密な連携が必要であると考えており、今後は事業所への訪問を行うなどより一層の信頼関係の構築と連携を行っていく。
- (4) 身体拘束ゼロ
施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施し、身体・心理的拘束を行わない為の取り組みを行った。
引き続き、定期的な研修やミーティングでの周知徹底、職員に対するストレス対策を行い身体拘束ゼロを目指していく。
- (5) 苦情処理
利用者に対するケア、物品管理について数件苦情があった。
その苦情に対し、介護主任、副主任を中心に情報共有、フィードバックを行い対応の検討や改善対策を全体で話し合った。
その上で家族様や担当ケアマネージャーへ状況と対策、再発防止の為の改善案などの説明を行った。
介護職員に対しては、苦情に対する問題点を書面化し提示、再発防止の改善策を周知、定期的に再検討の場を設け再発予防に努めている。
- (6) リスクマネジメント
事業所内で起こりうる利用者の事故等を未然に防ぐために、事故防止委員会を設置し、定期的な委員会を開催し、委員会で出た案に基づいて事故報告書の検証を通してミーティングでの職員への共有化を図り、防止に取り組んだ。
季節性の感染症により、一時的に受け入れを制限せざるを得ない場合を想定し、マニュアル作成や研修を実施しリスクを減少できるよう努めている。
- (7) 職員の資質向上
内部研修への積極的な参加により、介護技術の習得と職員の資質向上に努めた。
個人だけではなくミーティング時に各職員へ周知する事で連携と施設全体の介護サービスの質の向上を目指している。
- (8) 法令順守、及び高齢者権利擁護、虐待防止の徹底
権利擁護・人権研修の実施により、職員の意識向上、コンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めている。

令和 6 年度 事業報告書

デイサービスセンターきしがわ園

令和 6 年度デイサービスセンターきしがわ園事業報告書

1. 年度達成額：37,934,035円

2. 6年度目標額：49,000,000円

2. 達成率： 77.4%

4. 目標未達成について

今年度も目標を達成する事が出来ず、売り上げの低迷となった。稼働率を考慮し、今までより少ない人員配置で挑戦し、各職員できる限りの対応をしたが、職員のけがや病気で長期離脱をしている間は、現場を稼働させるのに苦戦をした。利用者様や家族様にもご迷惑をかける結果となった。次年度は、効率よく現状の人員配置で安定した運営をしていけるように職員一丸となり目標を達成したい。新規獲得については、他事業所からのお褒めの言葉も頂戴する事ができ、徐々に回復傾向となっている。

5. 事業計画の実施について

1、 所介護事業・介護予防通所介護事業・日中一時支援事業（障害サービス）。

2、 年末年始を除く月曜日から土曜日、祝日の事業の実施。

3、 介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、通所介護計画書及び通所介護予防計画書を作成し、利用者一人ひとりの身体状況・精神状況やニーズを把握した上で、そのサービスが適切かつ個別的に居宅サービス計画に沿ったサービス提供ができた。その結果、プロセス評価・結果評価ができ、見直しを行い再アセスメントができた。生活機能向上連携では、専門職の指導により行い評価に繋がった。

4、 可能な限り、利用者様のご家族にとっても心身のゆとりが持てる時間を提供するよう、またご家族が安心して利用者様を当事業所に任せて頂けるよう、ご家族に対しても常日頃から積極的にコミュニケーションをとる事で、更に当事業所と利用者・ご家族様との良好な信頼関係を築き、お互い協力し合える環境を作るように努めた。

ご家族やご利用者様の急な利用や時間変更にも迅速に対応した。

5、 利用者様のニーズに応じたレクリエーションを行い、音楽療法・介護体操・作業療法を加えることで自立支援に向けた。四季折々の行事など行い、他者との交流の場を提供することで気分転換して頂いた。

- 6、利用者様の自立支援に向けて、利用者様毎の困難な部分や本人様のやりたいことを把握して作業療法を実施し、職員による歩行訓練・集団体操を積極的に行うことができた。専門分野では、貴志川リハビリテーション病院と連携し生活機能連携向上加算も算定しており、理学療法士による機能訓練を行うことができた。
- また、低栄養状態の改善に向け食事形態などの考慮など栄養士や職員、介護支援専門員やご家族様とも連携し栄養改善に努めています。利用者様一人ひとりに合った口腔ケアは実施できていますが、自宅でも適切な口腔ケアができるよう支援や指導を努めた。
- 7、通所介護事業所の職員としての専門性を高める為、またより良いサービスを提供できるよう情勢に合わせ、外部のオンライン研修・内部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。
- 8、事故対応については迅速に対応し、事故を回避する為に報告書等を作成し、報告内容を基に職員間でPDCAサイクルを活用し、利用者様やご家族様の信頼回復に努めた。危険予知トレーニングなどの勉強会内容の再確認を行い、リスクマネジメント「介護中に起こり得る事故をあらかじめ予測しておくことで、可能な限り未然に防ぐこと」の徹底に努めるようにした。
- 9、デイサービスの今後の展開について
- 利用者様・ご家族様・各事業所の介護支援専門員に親切丁寧な対応を続けて行く。利用者様・家族様双方に満足して頂ける介護を心掛け、心身機能の維持向上を図り、組織内の連携及び業務内容の検討・見直しを行い、デイサービスセンターきしがわ園のイメージアップを図り、新規利用者様の獲得にも努めていく。

年 間 行 事 表

デイサービスセンターきしがわ園

	行 事	場 所	実 施 日
4月	ショッピング	玄関前	9日(火) 12日(金) 23日(火) 26日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	18日(木)～24日(水)
	クラフト	デイフロアー	15日(月)～23日(火)
5月	ショッピング	玄関前	7日(火) 10日(金) 21日(火) 24日(金)
	よもぎ餅つき	デイフロアー	2日(木) 3日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	16日(木)～22日(水)
	クラフト	デイフロアー	20日(月)～30日(木)
6月	ショッピング	玄関前	4日(火) 7日(金) 18日(火) 20日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	10日(月)～15日(土)
	クラフト	デイフロアー	17日(月)～22日(土)
7月	ショッピング	玄関前	2日(火) 5日(金) 16日(火) 26日(金)
	七夕まつり	デイフロアー	8日(月)
	クラフト	デイフロアー	10日(月)～15日(土)
	書道デッサン	デイフロアー	17日(月)～26日(水)
8月	ショッピング	玄関前	2日(金) 13日(火) 16日(金) 27日(火)
	書道デッサン	デイフロアー	5日(月)～14日(水)
	クラフト	デイフロアー	19日(月)～24日(土)
	夏祭り	デイフロアー	29(木)30日(金)
9月	ショッピング	玄関前	10日(火) 13日(金) 24日(火) 27日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	12日(木)～21日(土)
	クラフト	デイフロアー	19日(火)～25日(月)
10月	ショッピング	玄関前	8日(火) 11日(金) 22日(火) 25日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	10日(木)～19日(土)
	ボードゲーム	デイフロアー	9日(水)26日(土)28日(月)
	クラフト	デイフロアー	21日(月)～26日(土)
11月	介護体操	デイフロアー	31日(木)
	ショッピング	玄関前	5日(火) 8日(金) 19日(火)
	運動会	デイフロアー	21日(木)22日(金)
	クラフト	デイフロアー	23日(土)～28日(木)
12月	書道デッサン	デイフロアー	21日(木)～30日(土)
	介護体操	デイフロアー	25日(月)
	ショッピング	玄関前	3日(火) 6日(金) 17日(火) 20日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	12日(木)～18日(水)
1月	クリスマス会	デイフロアー	24(火) 25日(水)
	ショッピング	玄関前	21日(火) 24日(金)
	戎祭り	デイフロアー	9日(木)～11日(土)
2月	書道デッサン	デイフロアー	16日(木)～21日(水)
	クラフト	デイフロアー	22日(水)～27日(月)
3月	ショッピング	玄関前	11日(火) 25日(火) 28日(金)
	節分(豆まき)	デイフロアー	3日(月) 4日(火)
	書道デッサン	デイフロアー	17日(月)～22日(土)
	節分(豆まき)	デイフロアー	3日(月)4日(火)
3月	ショッピング	玄関前	9日(火) 12日(金) 23日(火) 26日(金)
	書道デッサン	デイフロアー	17日(月)～22日(土)
	ボードゲーム	デイフロアー	18日(火)19日(水)

※毎月の行事

書道、デッサン、クラフト

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女													
		合計													
適	要支援 2	男													
		女													
		合計													
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男	13	14	12	7	17	25	30	24	15	22	25	26	230
		女	29	25	23	31	30	31	50	54	53	47	55	42	470
		合計	42	39	35	38	47	56	80	78	68	69	80	68	700
適	要介護 2	男	13	15	3	10	9	8							58
		女	107	104	67	111	77	86	105	101	97	86	85	95	1121
		合計	120	119	70	121	86	94	105	101	97	86	85	95	1179
適	要介護 3	男	70	86	48	56	62	50	49	44	40	42	28	37	612
		女	69	66	94	101	69	64	60	63	75	97	86	78	922
		合計	139	152	142	157	131	114	109	107	115	139	114	115	1534
適	要介護 4	男	13	28	37	27	36	33	24	16	8	8	8	11	249
		女	21	21	24	7	25	25	27	26	26	27	20	32	281
		合計	34	49	61	34	61	58	51	42	34	35	28	43	530
適	要介護 5	男	10	12	16	17	23	17	17	18	17	16	45	52	260
		女								1		2			3
		合計	10	12	16	17	23	17	17	19	17	18	45	52	263
	総合計(人)	男	119	155	116	117	147	133	120	102	80	88	106	126	1409
		女	226	216	208	250	201	206	242	245	251	259	246	247	2797
		合計	345	371	324	367	348	339	362	347	331	347	352	373	4206

(注 1) 該当月末日時点では有効な要介護度より算出しています。

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女													
		合計													
適	要支援 2	男													
		女													
		合計													
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	2	2	21
		女	6	5	5	5	5	5	7	7	7	6	7	6	71
		合計	7	6	6	6	7	7	9	9	9	9	9	8	92
適	要介護 2	男	1	1	1	1	2	1	1						7
		女	8	9	7	9	9	8	8	7	8	7	7	7	94
		合計	9	10	8	11	10	9	8	7	8	7	7	7	101
適	要介護 3	男	6	6	6	6	5	6	5	4	3	3	4	4	57
		女	6	6	7	6	4	4	4	4	5	6	6	5	63
		合計	12	12	13	11	10	9	9	8	8	9	10	9	120
適	要介護 4	男	3	3	3	3	2	2	2	3	1	1	1	2	26
		女	1	1	2	1	1	1	1	1	2	2	2	3	18
		合計	4	4	5	4	3	3	3	4	3	3	3	5	44
適	要介護 5	男	1	2	2	2	2	1	1	1	2	1	2	2	19
		女								1		1			2
		合計	1	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	21
	総合計(人)	男	12	13	13	13	13	11	10	10	8	8	9	10	130
		女	21	21	21	21	19	18	20	20	22	22	22	21	248
		合計	33	34	34	34	32	29	30	30	30	30	31	31	378

(注 1) 該当月末日時点では有効な要介護度より算出しています。

適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	3.2	3.3	3.3	3.2	3.1	2.9	3.0	3.1	3.1	2.6	3.1	3.2	3.1
		女	2.1	2.1	2.3	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1	2.1	2.3	2.1	2.2	2.1
		平均	2.5	2.6	2.7	2.6	2.5	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5

(注 1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。(注 2) 小数点以下第 2 位を四捨五入しています。

利用料実績合計一覧表(年間)

提供月：令和 6年 4月分 ～ 令和 7年 3月分
対象事業者：デイきしがわ

利用項目	利用料区分	R 6/ 4	R 6/ 5	R 6/ 6	R 6/ 7	R 6/ 8	R 6/ 9		合計額
		R 6/10	R 6/11	R 6/12	R 7/ 1	R 7/ 2	R 7/ 3	R 7/ 3	
昼食代	日額	207,000	220,200	188,400	214,200	204,600	203,400		2,487,600
		215,400	202,800	195,000	205,800	208,200	222,600		
理髪代	日額		1,000		1,000				4,000
		1,000		1,000					
夕食代	日額						1,500		35,000
		1,500			6,000	10,000	16,000		
ショッピング代	月額	3,140	2,501	3,097	3,366	1,412	4,638		55,239
		6,589	10,438	4,711	4,426	4,815	6,106		
キッチンカー代	月額				600				600
合計 件数：5件		210,140	223,701	191,497	219,166	206,012	209,538		2,582,439
		224,489	213,238	200,711	216,226	223,015	244,706		